秋ジャガイモの栽培体験
第1回（植え付け）を開催しました！

開催概要

開催日：2026年9月19日（土）

開催時間：10時～12時

開催場所：冨岡農園（東京都練馬区石神井町）

参加者：都内在住の方（2組3名）

当日の様子

■ 秋ジャガイモに関する講義

受付後、農園主よりジャガイモに関する講義を受けました。今回は長崎で育成された「デジマ」という品種を使用し、資料の配布やホワイトボードを用いた説明を交えながら、丁寧にご指導いただきました。講義では、秋植えの場合はジャガイモを切らずに丸ごと1個使用することを学びました。これは、切った断面から腐敗しやすくなるためだそうです。このほかにも、植え付けの際の具体的なポイントについて教えていただきました。

講義の後半では、見本の種芋を間近で見せていただき、正常な種芋と腐敗した種芋の状態を実際に比較しながら確認しました。また、1個の種芋から8～10個のジャガイモを収穫できるとのお話もあり、参加者は収穫への期待を膨らませていました。





■ 植え付け体験

すぐ近くの畑へ移動し、いよいよ植え付け体験の開始です。今回は2組の参加だったため、1列ずつ順番に作業を進めました。まず、バケツに入った種芋を土の上に等間隔で並べます。続いて、脇の土をかぶせて軽く固め、種芋と種芋の間に肥料をまきました。その後、機械を使って土を整え、さらに鍬(くわ)で種芋を植えた場所を平らにしました。

作業前には毎回お手本を見せてくださったので、参加者にとって分かりやすい内容でした。機械の操作はバランスを取るのが難しそうでしたが、皆さん熱心に取り組まれていました。また、通常よりも1つ1つの作業をじっくり体験させていただき、終了後には工程の再説明や質問の時間も設けていただきました。

当日は雨に降られることもなく、和やかな雰囲気の中で、落ち着いて丁寧に作業を進めることができました。参加者からは「3ヶ月後の収穫が楽しみです」との声が聞かれました。収穫時にはたくさんのジャガイモが採れる予定とのことで、どのように持ち帰ろうかと楽しそうに話す様子も見られました。また、畑には様々な種類の野菜が植えられており、それらについても説明していただきました。収穫時期がジャガイモと同じ頃になるそうで、参加者は「楽しみが増えました」と喜んでいました。







